

高等学校 英語科

1 単元について

対 象 学 年	高等学校 1年
学習指導要領	読むこと(イ) 書くこと(エ)
単 元 名	Lesson 1 Do you speak English? (全4時間) CREATIVE English Course
単 元 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を引いたり、説明を求めたりしながら、類推力を働かせて読み取るようとしている。</li> <li>・英文の内容構成に注意しながら論理的に書き続けている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</li> <li>・文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読することができる。</li> <li>・文化の違いについて感じたことを適切に書き表すことができる。</li> <li>・文章の内容について既習の表現、文法を用いて、読み手に伝わるように書くことができる。 (表現の能力)</li> <li>・異文化理解に関する英文を、単語や熟語、構造や内容に注意しながら正確に読みとることができる。 (理解の能力)</li> <li>・関係代名詞や、It ...that の構文の用法を理解している。</li> <li>・異文化コミュニケーションの際の注意点について理解している。 (言語や文化についての知識・理解)</li> </ul>
配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場をよく理解した、外国人への接し方の方法を、技能の定着を意図して、自分が外国人に話しかける場合を想定して、どのような表現をするのかに重点を置き1つの大きな単元を構成する。</li> <li>・実際に使用する場面を想定することで、活動への興味・関心を高め、気持ちが込もった表現活動になるように工夫する。</li> <li>・関係代名詞、間接疑問文などを含む英文の構造や基本的な英文のリズムに慣れ、定着を図るために、語を入れ替えた文型練習、音読などの活動を取り入れ、各単位時間における活動内容を工夫する。</li> <li>・言語材料「音声」の「発音」「音変化」「基本的な強制」「基本的なイントネーション」「区切り」等、基本的な英語の音声の特徴については、教科書本文の音読等を通じて、毎時間繰り返し練習し、習熟を図る。</li> </ul>
参 考 資 料	資料1 予習プリント 資料2 生徒自身による自己評価

2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
読評 む価 こ規 と準 の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動に積極的、意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語の情報を正しく読みとることができる。</li> <li>・初歩的な英語を、構造や内容に注意しながら正確に読みとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や言語の運用についての基本的な適切な知識を身に付けている。</li> </ul>
書評 く価 こ規 と準 の		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</li> </ul>		
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を引いたり説明を求めたりしながら、類推力を働かせて読み取ろうとしている</li> <li>・英文の内容構成に注意しながら論理的に書き続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読することができる。</li> <li>・文化の違いについて感じたことを適切に書き表すことができる。</li> <li>・文章の内容について既習の表現、文法を用いて、読み手に伝わるように書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化理解に関する英文を、単語や熟語、構造や内容に注意しながら正確に読みとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞や、It...that の構文を理解するとともに、英語は構造上、結論を先に言い、理由を後で述べるものであることを理解している。</li> <li>・異文化コミュニケーションの際の注意点を理解している。</li> </ul>

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
単位時間における具体的な評価規準	辞書を引いたり説明を求めたりしながら、類推力を働かせて読み取ろうとしている 英文の構成・内容に注意しながら、論理的に書き続けている。 (本文の内容が読み手に理解されるよう工夫されたまとめとなっている。)	強勢、イントネーション、区切りなどに留意しながら適切に音読することができる。 本文で学習した表現や構文を用いて、自分の考えや気持ちを書き表すことができる。 (本文で使用されたキーワードが適切に盛り込まれている。) 本文で学習した表現や構文を発展させて多くの英文を作ることができる。	異文化理解に関する英文を、単語や熟語、構造や内容に注意しながら正確に読みとることができる。	関係代名詞の節の働きや It...for ~ to の用法について理解している。 具体的に物事を説明する時、まず結論を先に述べ、その後で具体的に説明していく英語の文章の論理的な組立、日本語との発想の違いに気付いている。 日本人は、西洋人をとすればすべて英語を話す人と誤解しがちであるが、そうした見方は西洋人にとっては、大変不快であり、認識を改める必要があると気付いている。

3 指導と評価の計画（全4時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国人とのコミュニケーションで、注意することを考える。</li> <li>○関係代名詞を含む文や間接疑問文について意味・形態・機能を正しく理解する。</li> <li>○正確に音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前置きとしてすべての西洋人が英語を話すわけではないことを確認する。</li> <li>○予習プリントにより単語・熟語の意味を確認する。必要あらば辞書を引かせる。</li> <li>○音読を行う</li> <li>○全般的な意味の確認</li> <li>・関係代名詞、間接疑問、It...that 構文に注意する。</li> <li>○上記の項目について例文による応用をする。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察</li> <li>・予習プリントの記入状況</li> <li>・机間巡視</li> <li>・活動の観察</li> <li>・学習プリントの記入状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語や熟語の意味が本文に用いられているものと違わないよう注意する。</li> <li>・音読により文章の流れに慣れさせ、リズムを会得させる。</li> <li>・構文の構造をFor Studyで参照させる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ It... for A to ~ の形式主語、不定詞の意味上の主語、S+V+O の構文で O が that 節になっている構文の意味・形態・機能を理解する。</li> <li>○イントネーションや区切りの重要性を理解する。(音声面の重要性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の授業の復習を内容、語彙の点から行う。</li> <li>○本時の学習課題文を確認する。</li> <li>・ It is wrong to judge...</li> <li>・ Many people believe that people...</li> <li>○上記の構文を用いて身の回りのことを表現する。</li> <li>・それを発表する。</li> <li>○英語の音声、強弱、区切り、イントネーションなどに気を付けながら音読する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価</li> <li>・ノートの記入状況</li> <li>・発音・音声の相互評価</li> <li>・活動の観察</li> <li>・自己評価</li> <li>・机間巡視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に参加させる。</li> <li>・板書事項をノートに正確に記入させる。</li> <li>・できるだけ明瞭な音声で自然な速さで話させる。</li> <li>・特に文強勢と区切りに留意させる。</li> </ul>

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出身地を尋ねる言い方、職業を尋ねる言い方、have a chance to...の使い方を習得する。</li> <li>○本文を読んで考えることを英語でまとめてみる。</li> <li>○本文の英語による要約。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の復習を内容、語彙の点から行う。</li> <li>○本時の学習課題文を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Where are you from?</li> <li>・ What do you do?</li> <li>・ If you have a chance to...</li> </ul> </li> <li>○発音練習、音読</li> <li>○本文の意味の確認</li> <li>○なるべく本文で学習した表現を用い感想を書き、発表する。</li> <li>○英文によるまとめ。</li> <li>○ Comprehension をやる。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相互評価</li> <li>・ ノートの記入状況</li> <li>・ 音声、区切りの相互評価</li> <li>・ 相互評価</li> <li>・ ノートの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に参加させる。</li> <li>・ 板書事項を正確にノートに記入させる。</li> <li>・ 出来るだけ自然な速度で明瞭な音声で話させる。</li> <li>・ ノートを提出させて、添削する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ It....to の構文の用法を習得する。</li> <li>○ 本文で学習した語彙・構文の用法を学習する。</li> <li>○ 単語の発音を正確に覚える。</li> <li>○ 学習した構文・語彙を用いて英作文の練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ It...to の構文を用いて口頭で発表する。(ペアワーク)</li> <li>○ 日本語で意味を確認するところは確認のため、グループごとに板書する。</li> <li>○ ペアまたはグループでお互いの発音をチェックし合う。</li> <li>○ 設問をグループに割り振りグループ学習として英作文を取り組む。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の観察</li> <li>・ 活動の観察</li> <li>・ 発音の相互評価</li> <li>・ ノートの記入状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に参加させようとする。</li> <li>・ 文の構造に留意させる。</li> <li>・ 正確さからはずれないように、監督し、指導する。</li> <li>・ 本文で学習した構文・語彙が適切に使用されているか確認する。</li> </ul>

#### 4. 単位時間の授業展開例

##### (1) 本時のねらい

- ・関係代名詞、It ....that 構文の用法を理解する。
- ・現在の日本は、さまざまな人種・国籍の人が集まっており、偏見や先入観を捨ててすべての国の人々に平等に接することが大切であることを読みとる。

##### (2) 本時の位置

1 / 4時

##### (3) 展開例

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助について
導 入	<p>西洋人はすべて英語を話すのか、生徒に問う。</p> <p>Do all the Westerners speak English?</p> <p>予習プリントをもとに黒板に単語・熟語の意味を書き出す。</p> <p>be from, skin, French, Russian sign, all kinds of, experience, light, speak to, wonder look like,</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は黒板に指名された語の意味を書く。</li> <li>・予習プリントに書き込む。</li> </ul>	<p>エ - (活動の観察)</p> <p>ア - (授業後点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をして、個々の生徒の学習状況、取り組みの状況を確認し、本文の内容に合った意味を調べられているかチェックする。</li> <li>・積極的に取り組んでいるか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋諸国の言語使用状況なども併せて指導する。</li> <li>・表現内容に応じて語彙の意味を使い分ける必要があることを指導する。</li> <li>・発音記号にも注意させる。</li> <li>・スペリングをチェックする。</li> <li>・机間指導を行う。</li> </ul>
展 開	<p>教師の、モデルリーディングの後、音読練習。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで音読練習。</li> </ul> <p>○本文の全体の意味の解説。</p> <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>There are other people who look a lot like me.</p> <p>I always wonder how these people know I speak English.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区切りは関係代名詞は前、間接疑問文の場合は接続詞の前があることを意識されているか。</li> </ul> <p>ウ - (活動の観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの文の構造と、関係代名詞と先行詞の間に数の一致があることなど理解しているか確認する。</li> <li>・即興性や創意工夫が見られるかどうか、会話が途切れないかなど見定める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞を含んだ文や間接疑問文について板書を用いて構造を説明する。また、英語は、結論を先に言う、論理的構造を持つ言語であることを指導する。</li> <li>・関係代名詞と先行詞は数を一致させる指導をする。</li> </ul>
終 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記表現を用いてダイアログを作成する。(ペアワーク)</li> <li>・発表する。</li> </ul> <p>○与えられた日本語を関係代名詞、及び間接疑問文を用いて英語にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書して発表する。</li> </ul> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業のねらいを再確認した後、自己評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の状況でどのように用いたらよいかを納得させながら指導する。</li> <li>・自己評価を適切に行わせる指導をする。</li> </ul>

